

キーパー施工店の皆さまへ

第11回 2026年 キーパー技術コンテスト開催!!

開催の目的 全国のKeeper施工者の技術力向上

開催スケジュール

★予選会:4月24日(金)~7月21日(火)

競技:フレッシュキーパー(1台を2名で施工)

開催場所:全国25箇所(トレーニングセンター・Keeper LABO)

採点方法:キーパー技術コンテスト採点表を使用し、170点満点で採点

出場資格:店舗でコーティングを施工しているキーパー技術資格者

※資格をこれから取得する予定の方も参加できます。

※昨年コンテスト予選会で157点以上を獲得した人は、シード選手として「県チャンピオン決定戦」から出場可。

(予選会から出場もOKです)

殿堂入り:歴代の全日本チャンピオン、第11回大会から数えて県チャンピオン2回獲得

※当日、**ダイヤモンドキーパーケミカル**と**ECOプラスレジン**をお持ちください。

お店で使用している道具を持参していただいても構いません。

★**県チャンピオン決定戦:**

9月7日(月)~10月16日(金)予定 ※日時7月中旬に決定

競技:ダイヤIIキーパー(1台を2名で施工)

開催場所:全国22箇所のトレーニングセンター

採点方法:キーパー技術コンテスト採点表を使用し、170点満点で採点

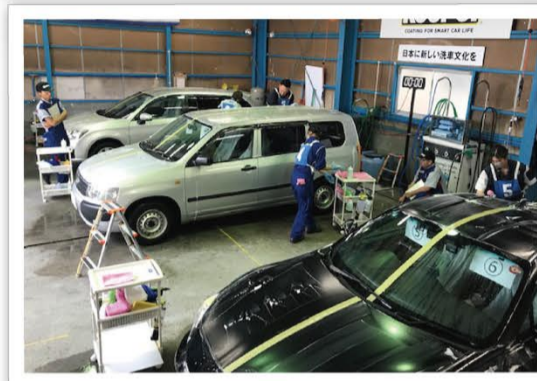
出場資格:予選会1位通過、または競技得点157点以上を獲得した選手
 昨年のキーパー技術コンテスト予選会で157点以上を獲得した人はシード選手として出場可

※当日、**ダイヤモンドキーパーケミカル**と**ダイヤIIレジン**をお持ちください。

キーパー技術コンテスト予選会の申込みはWebからできます!



キーパー スクール申込 検索



★**全日本チャンピオン決定戦:**11月4日(水)・5日(木)予定

競技:準決勝/ダイヤIIキーパー、決勝/EXキーパー

開催場所:Keeper技研本社(中央トレーニングセンター)

採点方法:キーパー技術コンテスト採点表を使用し、170点満点で採点

出場資格:各都道府県チャンピオン



ダイヤIIキーパーのメンテナンスに「プレミアム仕様」ができました!

ダイヤIIキーパーのメンテナンスに、新たに「プレミアム仕様」が加わりました。プレミアム仕様では、窓ガラス・ホイール・レンズ・樹脂パーツなど、細部まで施工する内容です。お客様からは、「せっかくキレイにするなら全部やりたい」「細かい部分まで気になる」という声が増えています。プレミアム仕様の追加で、お客様のご要望にお応えしていきます。

※プレミアム仕様は、ボディに加えて、ステップ・ホイール・窓ガラス・レンズ・無塗装樹脂パーツの被膜を入れ替えます。

NEW

Aメンテナンス

作業時間:1時間半~

新鮮なダイヤIIレジン被膜に入れ替えます。

ダイヤIIレジン被膜

ガラス被膜

塗装

※. 図はイメージ

ダイヤIIキーパー Aメンテナンス

SS	19,600
S	21,800
M	23,100
L	24,300
LL	28,200
XL	33,700

ダイヤIIキーパー プレミアム仕様 Aメンテナンス

SS	37,400
S	39,600
M	40,700
L	44,000
LL	48,400
XL	53,900

※洗車料金含む(単位は円、税込)

NEW

Bメンテナンス

作業時間:2時間~

下部の高密度ガラス被膜を整え、新鮮なダイヤIIレジン被膜に入れ替えます。

ダイヤIIレジン被膜

ガラス被膜

塗装

※. 図はイメージ

ダイヤIIキーパー Bメンテナンス

SS	24,800
S	27,000
M	28,300
L	29,500
LL	33,500
XL	39,000

ダイヤIIキーパー プレミアム仕様 Bメンテナンス

SS	42,900
S	44,000
M	46,200
L	49,500
LL	53,900
XL	59,400

※洗車料金含む(単位は円、税込)

2026年3月2日より、三菱自動車工業(株)で、キーパーコーティングが純正品として取扱い開始

三菱自動車工業とKeeperのコラボレーションによる新車用ボディコーティングが、3月2日より、全国の三菱自動車販売店にて、順次取扱いを開始しました。



Keeper製品は現在、新車メーカーおよび新車メーカー直系の部品商社を通じて純正コーティングとして採用が広がっています。純正採用メーカーは、トヨタ、ホンダ、スバル、スズキ、ボルボ・カー・ジャパン、メルセデス・ベンツ日本、三菱にまで拡大しています。

Keeperはもともとガソリンスタンドの現場から生まれたコーティングです。既販車向けサービスとしてスタートし、品質の高さがお客様の口コミによって広がり、施工台数は着実に増加してきました。Keeperを施工してきたユーザーが新車購入時にもKeeperを選んでくださるようになり、新車マーケットへと自然に広がっていききました。

そして現在では、新車ディーラーでの純正採用も進み、新車メーカーからの採用へと発展しています。新車メーカーから純正採用されることは、Keeperの品質とブランドに対する信頼性の高さを示す大きな証でもあります。

今後、日本国内では新車販売台数の減少も予想されていますが、その一方で、コーティングメンテナンスや再施工といった長期的なカーケア需要の拡大が目まぐるしく見られています。